



2013.10.12 (土) 14:00-15:30

会場：東北大学 片平キャンパス さくらホール (2階)

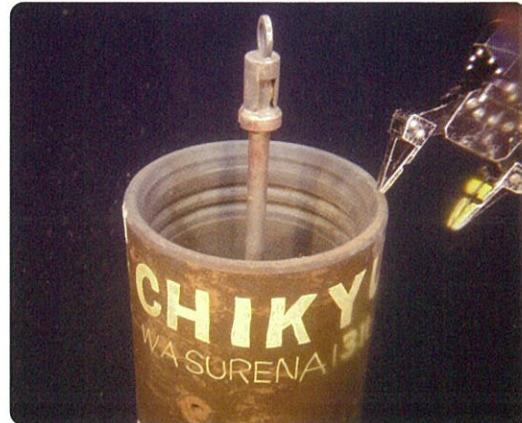
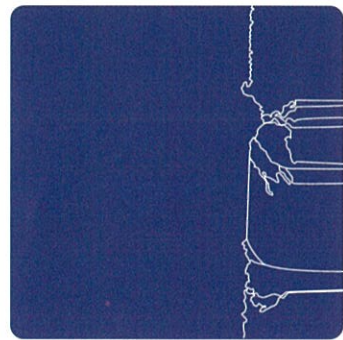
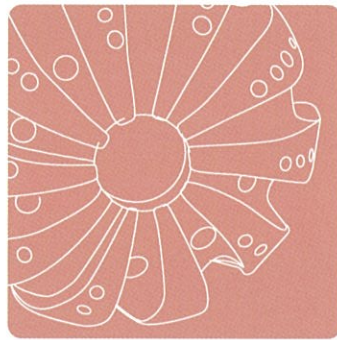
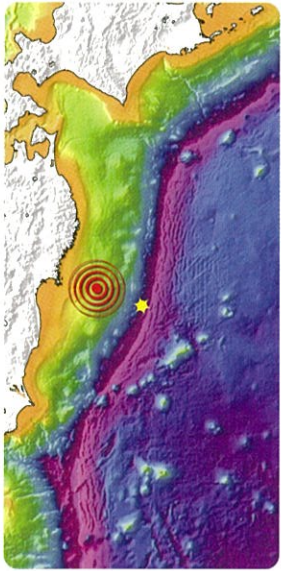
地球深部探査船

「ちきゅう」が解き明かす 東北沖地震の謎



講師：齋藤 実篤
(海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域)

— 東北地方太平洋沖地震を引き起こしたプレート境界断層。地球深部探査船「ちきゅう」によって昨年設置された観測装置が、観測データとともにこの春無事回収されました。この講演会では、観測データの解析によって明らかになりつつある東北地方太平洋沖地震発生の“現場”をお伝えします。



主催：東北大学東北アジア研究センター
共催：「日本地球掘削科学コンソーシアム IODP
(統合国際深海掘削計画) 普及キャンペーン」



お問い合わせ：東北大学東北アジア研究センター Tel.(022) 795-6009

統合国際深海掘削計画
(IODP: Integrated Ocean Drilling Program) とは？

日・米が主導国となり、平成 15 年(2003 年)10 月から始動した多国間国際協力プロジェクト。現在、欧州(18 カ国)、中国、韓国、豪州、インド、NZ、ブラジルの 26 ヶ国が参加。日本が運航する地球深部探査船「ちきゅう」と、米国が運航する掘削船ジミテス・レゾリューション号を主力掘削船とし、欧州が提供する特定任務掘削船を加えた複数の掘削船を用いて深海底を掘削することにより、地球環境変動、地球内部構造、地殻内生命圏等の解明を目的とした研究を行う。